

情報過多な世界の中で教育現場におけるデジタルデトックスが全国的に重要となり、鳥取県はデジタルを使わないリアルな体験学習ができる県として知られるようになる

概要

教育機関は自ら学び自ら考える力などの「生きる力」に加え、人生120年時代を迎え、長寿化の中で自分の健康を大切にできる力を育成することが求められる。そこで、幼少期からデジタルデバイスに当たり前に接し、情報の洪水を受け続けている学生に対して、心身の健康増進のため、意識的にデジタルデバイスから離れ、自分自身と向き合う（＝デジタルデトックス）環境を用意することが義務化される。

鳥取県の特徴である光や音の刺激が少ない環境はデジタルデトックスを行うフィールドとして最適であり、鳥取砂丘や三徳山、さじアストロパーク等を活用した瞑想修行や五感をフルに活用したリアルな体験ができるアクティビティといった授業/コンテンツの開発が盛んとなり、鳥取県は修学旅行の主要訪問先の1つとなる。

変化のポイント(商品・サービス/価値観・行動/業界/などの変化)

いままでは

「学び」を目的とした修学旅行



これからは

「健康」を目的とした修学旅行